

「社会的養育推進計画の策定に向けて」課題の整理・検討②

② 施設の小規模かつ地域分散化、高機能化及び多機能化・機能転換

施設養育は、家庭的な環境において、子供一人ひとりに寄り添った質の高い養育の実践を基本に、専門的なケアの提供、退所後の自立支援などの充実を図る必要があり、さらに、施設の養育モデルや専門性を生かした里親支援や地域における子育て支援などに取り組むことが必要

【検討の視点(案)】

○ ケアニーズが高い子供に対する専門的ケアの充実について

- ・ 乳児院の家庭養育推進事業、乳児院の医療体制整備事業、専門機能強化型児童養護施設、連携型専門ケア機能モデル事業等、現行施策の検証を行い、今後の方向性を検討
- ・ 児童養護施設における高年齢児童や、児童自立支援施設入所児童に対する支援の強化(体制強化)

○ 施設の小規模化かつ地域分散化の促進について

- ・ グループホーム設置促進にかかる児童定員、職員配置等の制度の見直し
- ・ 小規模化による夜間を含めた人材の確保・定着策の検討
- ・ 乳児院における医療的ケアが必要な児童など、ケアニーズが高い児童が増加している中での小規模化の実効性の検討

○ 自立支援策の充実について

- ・ 自立支援コーディネーターの検証等、児童養護施設における自立支援の今後の方向性の検討
- ・ 自立援助ホームの対象児童及びホームの役割の整理
- ・ 児童自立支援施設のアフターケアの取組の検討
- ・ 養育家庭等出身者に対する自立支援機能の活用促進

○ 多機能化の方向性について

- ・ 里親支援、一時保護委託の充実、地域支援の強化など、今後施設にさらに求められる役割の検討